当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式								
信託期間	2023年3月7日まで(2013年5月28日設定)								
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。								
主要運用対象	ベ ビ ー 次世代米国代表株マザーファンド ド受益証券を主要投資対象とします。 マ ザ ー 米国の株式を主要投資対象としファンド ます。								
主な組入制限	株式への実質投資割合に制限を ベ ビ ー 設けません。 ファンド 外貨建資産への実質投資割合に 制限を設けません。 株式への投資割合に制限を設け								
	マ ザ ー ません。 ファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。								
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。								

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書(全体版)

次世代米国代表株ファンド

愛称:メジャー・リーダー

第30期(決算日:2020年12月7日) 第31期(決算日:2021年3月8日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド」は、 去る3月8日に第31期の決算を行いましたので、法 令に基づいて第30期~第31期の運用状況をまとめて ご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号 ホームページ https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用 フリーダイヤル 0 1 2 0 - 1 5 1 0 3 4 (受付時間:営業日の9:00~17:00、

土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

│ お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

[※]公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドマネージャーのコメント

当作成期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

(投資環境についての考え方)

2020年3月下旬以降の株式市況の急速な戻り基調は、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断致しました。これに対応し、中長期的には業績拡大余地の大きい優良成長株に重きをおいた投資を基本としつつも、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、よりバランスのとれたポートフォリオを構築しました。

(ポートフォリオの構築についての考え方)

当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざし、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療関連技術とサービスなどの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝

統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革 新により環境変化に対応する企業にも目を配りま した。当作成期は、適宜銘柄の見直しを行った結 果、当作成期首と当作成期末では、6銘柄が入れ 替わりました。優良成長企業ながら、いったんは 成長性が株価に織り込まれつつあると判断した 「APPLE INC」や、新薬開発が期待したほど進展 していないと判断した「AMGEN INC」などの売 却を行う一方で、遠隔医療のプラットフォームを 提供し高い成長が期待される「TELADOC HEALTH INCI や、成長力と株価水準を勘案する と相対的な割安感があると判断した総合ヘルスケ ア企業「JOHNSON & JOHNSON」、さらには 半導体需給の引き締まりにより業績の好転が期待 される半導体大手の「INTEL CORP」などを組み 入れました。

このような運用を行いました結果、株式市況の上昇ならびに「CATERPILLAR INC」や「DISCOVER FINANCIAL SERVICES」等の組入銘柄の値上がり、加えて為替の円安・米ドル高もプラスに寄与し、基準価額は当作成期首に比べ18.3%の上昇となりました。



株式運用部

ファンドマネージャー

西 直人 長田 直樹 安井 陽一郎 村山 信明 加藤 明 森 俊典

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

〇最近10期の運用実績

N-fa	krhr	440	基	準	価		額	(参 考 ダウ・ジョーン	指数) ズ工業株価平均	株式	株式	純	資産
決	算	期	(分配落)	税品	みり金り	期 騰 落	中率	(円換算ベース)	期 中騰落率	組入比率	先物比率	総	資産額
			円		円		%		%	%	%		百万円
22期(2018年12月	月7日)	9, 373		0	\triangle	6.3	17, 864	△ 2.1	93.0	_	4	42, 887
23期(2019年3月	月7日)	9, 527		0		1.6	18, 201	1.9	95.8	_	4	43, 904
24期(2019年6月	月7日)	9, 347		0	Δ	1.9	17, 720	△ 2.6	95.8	_	4	41, 714
25期(2019年9月	月9日)	9, 684		0		3.6	18, 195	2.7	93.8	_	4	41, 962
26期(2019年12月	9日)	10,000		231		5.6	19, 315	6. 2	90. 5	_	;	39, 513
27期(2020年3月	9日)	8, 753		0	△1	2.5	16, 751	△13.3	95. 1	_	;	33, 084
28期(2020年6月	8日)	9, 772		0	1	1.6	18, 843	12. 5	96. 1	_	;	39, 111
29期(2020年9月	月7日)	10,000		243		4.8	18, 997	0.8	85. 1	_	;	38, 158
30期(2020年12月	月7日)	10,000		929		9.3	19, 967	5. 1	94. 2	_		35, 106
31期(2021年3月	月8日)	10,000		822		8.2	21, 669	8. 5	95.8	_	;	35, 499

- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率 売建比率。

〇当作成期中の基準価額と市況等の推移

決	算	期	年	月	月	基	準	価		額	(参 え ダウ・ジョー				株組	入上	式 率	物上	式北率
								騰	落	率	(円換算ベース	ス) 朋	善 落	率	· ·				
				(期 首)		円			%				%			%		%
			202	20年9月	7 日		10,000			_	18, 99	97		_			85. 1		_
				9月末			9,847		Δ	1.5	18, 43	39	Δ	2.9			93. 2		_
	第30期			10月末			9,688		Δ	3. 1	17, 70	03	Δ	6.8			94. 4		_
				11月末			10,701			7.0	19, 72	28		3.8			95.3		_
				(期 末)														
			202	20年12月	7 日		10,929			9.3	19, 96	67		5. 1			94. 2		_
				(期 首)														
			202	20年12月	7 日		10,000			-	19, 96	67		_			94. 2		_
				12月末			10,032			0.3	19, 93	33	Δ	0.2			94. 4		_
	第31期		20	21年1月	末		10, 150			1.5	20, 29	99		1.7			94. 3		_
				2月末			10,653			6.5	21, 18	32		6.1			94.8		_
				(期 末)														
			202	21年3月	8日		10,822			8.2	21, 66	69		8.5			95.8		_

⁽注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

⁽注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

⁽注) 「株式先物比率」は買建比率 - 売建比率。

運用経過

第30期~第31期:2020年9月8日~2021年3月8日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 30 期 首	10,000円
第 31 期 末	10,000円
既払分配金	1,751円
騰落率	18.3%

(分配金再投資ベース)

- ※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、 ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ18.3%(分配金再投資ベース)の 上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国株式市況全体の上昇や組入銘柄(CATERPILLAR INCなど) の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上 昇要因となりました。

第30期~第31期:2020年9月8日~2021年3月8日

→ 投資環境について

▶ 米国株式市況 米国株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年10月下旬にかけて、市況は新型コロナウイルスの感染再拡大を嫌気する一方でワクチン開発の進展度合いを好感したほか、一進一退する追加景気刺激策協議の進展への期待、さらには大統領選挙の動向などによりレンジ内での動きとなりました。その後は、大統領選挙を終えバイデン候補が勝利の見込みとなり政治的な不透明感がある程度払拭されたことや、新型コロナウイル

スワクチンの開発進展と接種開始などを 好感し、当作成期末にかけて上昇基調と なりました。各国の中央銀行が金融緩和 を維持する方針を示し続けたことも市況 への支援材料となりました。

▶為替市況

当作成期首に比べ、1.9%の円安・米ドル高となりました。2021年年明け以降、米国金利の上昇傾向を受け、米ドル高が進みました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 次世代米国代表株ファンド

次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

▶ 次世代米国代表株マザーファンド

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。 銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、 社会構造に関する見通しを基に、変化に 対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選 し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。

主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療関連技術とサービスなどの重要性の高まりや、ミレニアル世代

台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、 伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する 企業にも目を配りました。

2020年3月下旬以降の株式市況の急速な戻り基調は、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断致しました。これに対応し、中長期的には業績拡大余地の大きい優良成長株に重きをおいた投資を基本としつつも、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、より

バランスのとれたポートフォリオを構築 しました。

株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成 期首と当作成期末では、6銘柄が入れ替 わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、 株価の動きに対応した個別銘柄の組入比 率調整を適宜行いました。

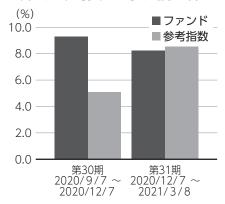
優良成長企業ながら、いったんは成長性 が株価に織り込まれつつあると判断した 「APPLE INC」や、新薬開発が期待したほど進展していないと判断した「AMGEN INC」などの売却を行う一方で、遠隔医療のプラットフォームを提供し高い成長が期待される「TELADOC HEALTH INC」や、成長力と株価水準を勘案すると相対的な割安感があると判断した総合ヘルスケア企業「JOHNSON & JOHNSON」、さらには半導体需給の引き締まりにより業績の好転が期待される半導体大手の「INTEL CORP」などを組み入れました。

第30期~第31期:2020/9/8~2021/3/8

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。 参考指数はダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)です。

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算して います。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位	:	円、	1万[当たり、	税込み)
-----	---	----	-----	------	------

項目	第30期 2020年9月8日~2020年12月7日	第31期 2020年12月8日~2021年3月8日			
当期分配金 (対基準価額比率)	929 (8.500%)	822 (7.596%)			
当期の収益	926	809			
当期の収益以外	2	12			
翌期繰越分配対象額	350	338			

⁽注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

⁽注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨て で算出しているため合計が当期分配金と一致しな い場合があります。

今後の運用方針(作成対象期間末での見解です。)

▶次世代米国代表株ファンド

マザーファンド受益証券を高位に組み入 れる方針です。

▶次世代米国代表株マザーファンド

米国特有の大きなイノベーションが起 こっている分野に注目し、変化に機動的 に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代 企業に投資します。景気や金利の動向に ついての不透明感は未だ払拭されない状 況ですが、マクロ動向の如何にかかわら ず、イノベーションなどの中長期的な投 資テーマに変化はないものと考えられま す。現在は、米国の強みでもあるイン ターネット、医療システムの改革の重要 性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴 う小売分野の構造変化を踏まえた新しい 企業の成長に注目しています。米国にお いて医療費の抑制を含むシステムの改革 が特にバイデン政権になってから注目が 高まっており、遠隔医療や医療管理ソフ トウェアなど、今後の成長が期待されま す。同時に、伝統的な老舗企業でありな がら、絶え間ない自己革新により環境変 化に対応し続けている優良企業にも日を 配っています。

過去数十年の米国株式市況上昇を支えた 経済規模の大きさと成長力、巨大な個人 消費市場の存在、さらには活発なイノ

ベーションと新陳代謝が盛んな経済構造 等は今後も市況上昇の要因になると思わ れます。

2020年3月下旬以降、株式市況は急速な 戻り基調となりましたが、期待先行で上 昇してきた面もあり、現行水準からの上 値は重いと考えます。ワクチン開発の進 展と接種開始が、景気回復期待を支援す る一方で、インフレ率の上昇度合いとそ れに伴う長期金利の動きが今後の注目点 となると思われます。足元の長期金利の 上昇は、経済正常化期待を反映した素直 な金利上昇と考えられ、各国の政府と中 央銀行も財政出動や金融緩和の修正を急 がない方針を強調しています。上値は重 いものの、引き続き財政、金融の両面か らの政策に支えられ、下値もまた限定的 と思われます。

2020年9月8日~2021年3月8日

🌎 1万口当たりの費用明細

西口	第30期~	~第31期	15日の柳田
項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a)信 託 報 酬	81	0.795	
(投信会社)	(39)	(0.383)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	6	0.055	(b)売買委託手数料=作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(6)	(0.055)	
(c)有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税=作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d)その他費用	1	0.008	(d)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	88	0.859	

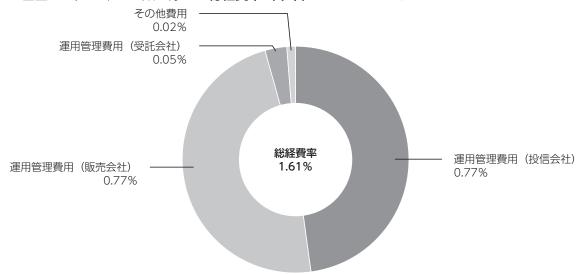
作成期中の平均基準価額は、10,217円です。

- (注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円 未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で 除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.61%です。



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた 簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

〇売買及び取引の状況

(2020年9月8日~2021年3月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

					第30期~	~第31期			
銘	柄		設	定			解	約	
		口	数	金	額		数	金	額
			千口		千円		千口		千円
次世代米国代表株マザー	ファンド	4,	402,813	10,	906, 000	5	, 985, 613	15,	566, 000

〇株式売買比率

(2020年9月8日~2021年3月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

百	日	第30期~第31期				
項	Ħ	次世代米国代表株マザーファンド				
(a) 当作成期中の株式売買金	額	41, 457, 239千円				
(b) 当作成期中の平均組入株	式時価総額	41,064,071千円				
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.00				

⁽注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月8日~2021年3月8日)

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド> 該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

マグドーリンドド	11020111 1	7 / 2 /					
				第30期~	~第31期		
15°	\wedge	pp / 1, 455 k/c			± /_ b= k*		
<u>X</u>	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	<u>D</u> C
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引		10, 579	5, 311	50. 2	14, 963	6, 945	46. 4

平均保有割合 85.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

○組入資産の明細

(2021年3月8日現在)

親投資信託残高

Distr.	扭	第29)期末	第31	期末					
銘	柄	П	数	数	評	価	額			
			千口	千口			千円			
次世代米国代表株マザー	-ファンド		13, 978, 792	12, 395, 992		34,	838, 936			

○投資信託財産の構成

(2021年3月8日現在)

TE	П	第31期末					
項	I	評	価	額	比	率	
				千円		%	
次世代米国代表株マザーファニ	ンド			34, 838, 936		85. 4	
コール・ローン等、その他				5, 932, 307		14.6	
投資信託財産総額				40, 771, 243		100.0	

- (注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (44,472,308千円) の投資信託財産総額 (47,298,511千円) に対する比率は94.0%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

	項 目	第30期末	第31期末
	4	2020年12月7日現在	2021年3月8日現在
		円	円
(A)	資産	38, 791, 718, 950	40, 771, 243, 399
	コール・ローン等	431, 233, 379	453, 307, 285
	次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	33, 567, 485, 571	34, 838, 936, 114
	未収入金	4, 793, 000, 000	5, 479, 000, 000
(B)	負債	3, 685, 428, 463	5, 271, 477, 078
	未払金	_	2, 098, 000, 000
	未払収益分配金	3, 261, 464, 305	2, 918, 043, 172
	未払解約金	271, 749, 048	106, 384, 928
	未払信託報酬	151, 869, 217	148, 710, 430
	未払利息	292	134
	その他未払費用	345, 601	338, 414
(C)	純資産総額(A-B)	35, 106, 290, 487	35, 499, 766, 321
	元本	35, 107, 258, 398	35, 499, 308, 673
	次期繰越損益金	△ 967, 911	457, 648
(D)	受益権総口数	35, 107, 258, 398 🗆	35, 499, 308, 673 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円	10,000円

〇損益の状況

			第30期	第31期
	項	目	2020年9月8日~	2020年12月8日~
			2020年12月7日	2021年3月8日
			P	円
(A)	配当等収益		Δ 23, 036	Δ 10, 951
	受取利息		266	156
	支払利息		△ 23, 302	△ 11, 107
(B)	有価証券売買損益		3, 405, 945, 039	3, 022, 300, 566
	売買益		3, 622, 238, 923	3, 141, 908, 402
	売買損		△ 216, 293, 884	△ 119, 607, 836
(C)	信託報酬等		△ 152, 214, 818	△ 149, 048, 844
(D)	当期損益金(A+B+C)		3, 253, 707, 185	2, 873, 240, 771
(E)	前期繰越損益金		863, 590, 230	772, 901, 934
(F)	追加信託差損益金		△ 856, 801, 021	△ 727, 641, 885
	(配当等相当額)		(372, 641, 180)	(471, 233, 548)
	(売買損益相当額)		$(\triangle 1, 229, 442, 201)$	$(\triangle 1, 198, 875, 433)$
(G)	計(D+E+F)		3, 260, 496, 394	2, 918, 500, 820
(H)	収益分配金		△3, 261, 464, 305	△2, 918, 043, 172
	次期繰越損益金(G+H)		△ 967, 911	457, 648
	追加信託差損益金		△ 856, 801, 021	△ 727, 641, 885
	(配当等相当額)		(374, 562, 138)	(473, 937, 714)
	(売買損益相当額)		$(\triangle 1, 231, 363, 159)$	$(\triangle 1, 201, 579, 599)$
	分配準備積立金		855, 833, 110	728, 099, 533

- (注) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 38,158,559,216円 作成期中追加設定元本額 6,758,394,472円 作成期中一部解約元本額 9,417,645,015円 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0000円です。

②分配金の計算過程

項目	2020年9月8日~ 2020年12月7日	2020年12月8日~ 2021年3月8日
費用控除後の配当等収益額	124, 310, 909円	173, 549, 704円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	3, 129, 396, 276円	2, 699, 691, 067円
収益調整金額	374, 562, 138円	473, 937, 714円
分配準備積立金額	863, 590, 230円	772, 901, 934円
当ファンドの分配対象収益額	4, 491, 859, 553円	4, 120, 080, 419円
1万口当たり収益分配対象額	1,279円	1,160円
1万口当たり分配金額	929円	822円
収益分配金金額	3, 261, 464, 305円	2, 918, 043, 172円

〇分配金のお知らせ

	第30期	第31期
1万口当たり分配金(税込み)	929円	822円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、 下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

- ※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
- ※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。
- *三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。



次世代米国代表株マザーファンド

《第16期》決算日2021年3月8日

[計算期間: 2020年9月8日~2021年3月8日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、3月8日に第16期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社 が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあ 運 用 針 | たっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込 方 まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として 高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

主 要 運 用 対 象 米国の株式を主要投資対象とします。

主 な 組 入 制 限 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

〇最近5期の運用実績

決	算	期	基	準	価 期	額中	(参考 ダウ・ジョーン (円換算ベース)	期	<u>価平均</u> 中	株 組 入		株 先 物	式 比 率	純総	資	産額
				円	騰	<u>落</u> %		騰落	<u>字</u> 率		%		%		百	万円
12期(2019年3月	月7日)		20, 862		△ 4.1	18, 201	4	△ 0.2		98. 4		_		48,	,004
13期(2019年 9丿	月9日)		21, 380		2.5	18, 195	Δ	△ 0.0		95. 5		_		45,	, 961
14期(2020年3月	月9日)		19, 903		△ 6.9	16, 751		△ 7.9		97. 7		_		36,	, 538
15期(2020年9月	月7日)		23, 438		17.8	18, 997		13.4		99. 1		_		37,	679
16期(2021年3月	月8日)		28, 105		19.9	21, 669		14. 1		97. 6		_		41,	, 554

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日 本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のも とで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	月	基	準	価		額	(参 考 ダウ・ジョーン			株組	入	比	式率	株先	物	比	式率
					騰	落	率	(円換算ベース)	騰落	率	水且		レレ	4	ノ	190	ш	4
	(期 首)			円			%			%				%				%
2	020年9月7日	3		23, 438			_	18, 997		_			9	9. 1				_
	9月末			23, 097		Δ	1.5	18, 439	Δ	2.9			9:	3.8				_
	10月末			22, 756		Δ	2.9	17, 703	\triangle	6.8			9.	5.0				1
	11月末			25, 185			7.5	19, 728		3.8			9.	5. 9				_
	12月末			25, 873			10.4	19, 933		4.9			9	4. 9				-
	2021年1月末			26, 215			11.8	20, 299		6.9			9.	4.8				
	2月末			27, 555			17.6	21, 182		11.5			9.	5. 3				1
	(期 末)	<u> </u>				<u> </u>				<u> </u>								
2	021年3月8日	1		28, 105			19.9	21, 669		14. 1			9	7. 6				_

- (注)騰落率は期首比。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率 売建比率。

〇運用経過

- ●当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国株式市況全体の上昇や組入銘柄 (CATERPILLAR INC など)の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

期首より2020年10月下旬にかけて、市況は新型コロナウイルスの感染再拡大を嫌気する一方でワクチン開発の進展度合いを好感したほか、一進一退する追加景気刺激策協議の進展への期待、さらには大統領選挙の動向などによりレンジ内での動きとなりました。その後は、大統領選挙を終えバイデン候補が勝利の見込みとなり政治的な不透明感がある程度払拭されたことや、新型コロナウ感がある程度払拭されたことや、新型コロナウ感がある程度払拭されたことも責力が金融緩和を維持する方針を示し続けたことも市況への支援材料となりました。

◎為替市況

期首に比べ、1.9%の円安・米ドル高となりました。2021年年明け以降、米国金利の上昇傾向を受け、米ドル高が進みました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の 獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあ たっては、今後の経済環境、社会構造に関する見 通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資 銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりま した。

主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療関連技術とサービスなどの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

2020年3月下旬以降の株式市況の急速な戻り基調は、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断致しました。これに対応し、中長期的には業績拡大余地の大きい優良成長株に重きをおいた投資を基本としつつも、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、よりバランスのとれたポートフォリオを構築しました。

株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を 行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、期首と期末では、6銘柄が入れ替わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

優良成長企業ながら、いったんは成長性が株価に織り込まれつつあると判断した「APPLE INC」や、新薬開発が期待したほど進展していないと判断した「AMGEN INC」などの売却を行う一方で、遠隔医療のプラットフォームを提供し高い成長が期待される「TELADOC HEALTH INC」や、成長力と株価水

準を勘案すると相対的な割安感があると判断した総合ヘルスケア企業「JOHNSON & JOHNSON」、さらには半導体需給の引き締まりにより業績の好転が期待される半導体大手の「INTEL CORP」などを組み入れました。

〇今後の運用方針

米国特有の大きなイノベーションが起こってい る分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を 受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や 金利の動向についての不透明感は未だ払拭されな い状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、 イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変 化はないものと考えられます。現在は、米国の強 みでもあるインターネット、医療システムの改革 の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う 小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長 に注目しています。米国において医療費の抑制を 含むシステムの改革が特にバイデン政権になって から注目が高まっており、遠隔医療や医療管理ソ フトウェアなど、今後の成長が期待されます。同 時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間な い自己革新により環境変化に対応し続けている優 良企業にも目を配っています。

過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われます。

2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇してきたあり、現行水準からの上値は重いと考えます。ワクチン開発の進展と接種開始が、景気回復期待を支援する一方で、インフレ率の上昇度合いとる場合で、インフレ率の上昇は、経済に伴う長期金利の動きが今後の注目点となる正常といる。足元の長期金利の上昇は、経済に各を反映した素直な金利上昇と考えられ、各正の政府と中央銀行も財政出動や金融緩和の修正を急がない方針を強調しています。上値は重いもの、引き続き財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と思われます。

○1万口当たりの費用明細

(2020年9月8日~2021年3月8日)

	項	Į					当	期		項 目 の 概 要
						金	額	比	率	
							円		%	
(a)	売	買 委	託	手 数	料		14	0.0	056	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
	(株		式)		(14)	(0.0	056)	
(b)	有	価 証	券	取引	税		0	0.0	001	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
	(株		式)		(0)	(0.0	001)	
(c)	そ	の	他	費	用		2	0.0	007	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
	(保管	拿 多	費用)		(2)	(0.0	006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
	(そ	の	他)		(0)	(0.0	000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計 16 0.064								0.0	064	
	į	期中の平	均基	準価額	は、 2	5, 226	円です	0		

- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2020年9月8日~2021年3月8日)

株式

		買	付			売	付	
	株	数	金	額	株	数	金	額
外		百株	千アメリ	カドル		百株	千アメリ	カドル
国 アメリカ		14, 709		176, 959		20,656	2	217, 635

(注) 金額は受渡代金。

〇株式売買比率

(2020年9月8日~2021年3月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当	期
(a) 期中の株式売買金額		41, 433, 209千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		41,064,071千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.00

⁽注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月8日~2021年3月8日)

利害関係人との取引状況

		買付額等			± 1.65 kh			
区	区 分 買作		うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{\mathrm{B}}{\mathrm{A}}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{\mathrm{D}}{\mathrm{C}}$	
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	
為替直物取引		10, 579	5, 311	50. 2	14, 963	6, 945	46. 4	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 UF J 銀行、モルガン・スタンレーMUF G 証券です。

○組入資産の明細

(2021年3月8日現在)

外国株式

	期首(前期末)		当	期	末			
銘 柄	株	数	株	数		面 額	業	種	等
(= , , , +)		Lub-			外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)		百株		百株	千アメリカドル	千円	夕华人副		
AMERICAN EXPRESS CO		- 1 000		1, 449	21, 348	2, 313, 495			
BOEING CO/THE		1,039		764	17, 060	1, 848, 844	- 1 / / /		
CATERPILLAR INC		1,018		1, 266	27, 872	3, 020, 516		al 1	
COCA-COLA CO/THE		1, 935		1, 256	6, 379	691, 316			コ
CHEVRON CORP		802		759	8, 275	896, 827			
WALT DISNEY CO/THE		890		736	13, 983	1, 515, 366	メディア・	・娯楽	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC		828		745	15, 390	1, 667, 837	資本財		
HOME DEPOT INC		962		728	18, 456	2, 000, 104			
JOHNSON & JOHNSON		_		842	13, 143	1, 424, 374	医薬品・バイオテ	クノロジー・ラ	iイフサイエンス
S&P GLOBAL INC		240		240	8, 028	870, 046	各種金融		
BANK OF AMERICA CORP		7, 129		5,867	21, 666	2, 348, 034	銀行		
SYSCO CORP		_		434	3, 549	384, 679	食品・生活	舌必需品	小売り
UNITEDHEALTH GROUP INC		833		895	31, 075	3, 367, 691	ヘルスケア	″機器・	サービス
VULCAN MATERIALS CO		316		316	5, 290	573, 328	素材		
WALMART INC		841		1,056	13, 635	1, 477, 632	食品・生活	舌必需品	小売り
CADENCE DESIGN SYS INC		633		710	8, 994	974, 787	ソフトウェ	ェア・サ	ービス
CONAGRA BRANDS INC		1,537		_	_	_	食品・飲料	斗・タバ	コ
INTEL CORP		_		1,456	8, 843	958, 396	半導体・当	半導体製	造装置
COSTCO WHOLESALE CORP		125		156	4, 960	537, 621	食品・生活	舌必需品	小売り
APPLIED MATERIALS INC		_		498	5, 649	612, 269	半導体・当	半導体製	造装置
AMGEN INC		833		_	_	_	医薬品・バイオテ	クノロジー・ラ	iイフサイエンス
MICROSOFT CORP		1,320		1,334	30, 911	3, 349, 920	ソフトウェ	ェア・サ	ービス
INTUITIVE SURGICAL INC		133		_	_	_	ヘルスケブ	∕機器・	サービス
QUALCOMM INC		75		_	_	_	半導体・当	半導体製	造装置
AMAZON. COM INC		46		53	15, 917	1, 724, 973	小売		
APPLE INC		521		_			テクノロジー・	ハードウェ	アおよび機器
COSTAR GROUP INC		92		82	6, 549	709, 743	商業・専門	月サービ	ス
DISCOVER FINANCIAL SERVICES		1, 796		_		, –	各種金融		
VISA INC-CLASS A SHARES		899		785	16, 909	1, 832, 502	ソフトウェ	ェア・サ	ービス
SERVICENOW INC		259		139	6, 768	733, 528			
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A		342		345	8, 810	954, 781			
STELLANTIS NV		7, 817		4, 533	7, 583	821, 846			
TELADOC HEALTH INC		-, 011		457	8, 668	939, 441			
AVALARA INC		463		133	1, 943	210, 634			
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A		1, 456		1,610	11, 580	1, 255, 003		_, ,	- / (
PINTEREST INC- CLASS A		1, 147		736	5, 015	543, 486		- 旭楽	
# 数 · 金 額	i (36, 329	2	30, 382	374, 264	40, 559, 032	// 1/	灰木	
c		30		30	574, 204	<97.6%>	ļ		

⁽注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

⁽注) 邦貨換算金額欄の〈 >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年3月8日現在)

	項	目	当 期 末				
			評	価	額	比	率
					千円		%
株式				4	10, 559, 032		85.8
コール・ローン等	、その他				6, 739, 479		14. 2
投資信託財産総額				4	17, 298, 511		100.0

- (注)期末における外貨建純資産(44,472,308千円)の投資信託財産総額(47,298,511千円)に対する比率は94.0%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは 以下の通りです。

- 6			
	1 アメリカドル=108. 37円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月8日現在) ○損益の状況

(2020年9月8日~2021年3月8日)

	項目	当 期 末
		円
(A)	資産	55, 059, 950, 551
	コール・ローン等	1, 915, 775, 751
	株式(評価額)	40, 559, 032, 656
	未収入金	12, 535, 237, 588
	未収配当金	49, 904, 556
(B)	負債	13, 505, 211, 811
	未払金	7, 779, 361, 612
	未払解約金	5, 725, 850, 000
	未払利息	199
(C)	純資産総額(A-B)	41, 554, 738, 740
	元本	14, 785, 431, 126
	次期繰越損益金	26, 769, 307, 614
(D)	受益権総口数	14, 785, 431, 126口
	1万口当たり基準価額(C/D)	28, 105円

<注記事項>

①期首元本額 16,076,358,715円 期中追加設定元本額 5, 204, 915, 837円 期中一部解約元本額 6,495,843,426円 また、1口当たり純資産額は、期末2.8105円です。

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	385, 482, 414
	受取配当金	385, 569, 484
	受取利息	521
	支払利息	△ 87, 591
(B)	有価証券売買損益	7, 479, 212, 664
	売買益	8, 861, 462, 580
	売買損	△ 1, 382, 249, 916
(C)	保管費用等	Δ 2, 880, 313
(D)	当期損益金(A+B+C)	7, 861, 814, 765
(E)	前期繰越損益金	21, 603, 195, 260
(F)	追加信託差損益金	7, 678, 774, 163
(G)	解約差損益金	△10, 374, 476, 574
(H)	計(D+E+F+G)	26, 769, 307, 614
	次期繰越損益金(H)	26, 769, 307, 614

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設 定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額 を差し引いた差額分をいいます。
- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド

12, 395, 992, 213円

次世代米国代表株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)

1,754,989,990円

次世代米国代表株ファンド (為替ヘッジあり)

588,720,970円

外国株式アクティブファンドセレクション (ラップ専用)

45,727,953円

合計

14, 785, 431, 126円